

# 情報保護機能を有する個人向け商品の開発

## 1. 目的

情報の利用と保護に関する法律が実施され、情報保安管理評価基準等に基づく情報管理が必要となり、コンピュータ応用機器を製造販売する中小企業においてもこれらに対応した機能を有する製品が求められるようになった。このことから、個人情報保護法に対応した情報保護機能付き電子媒体記録装置の開発を目的とした。

## 2. 開発品の概要

平文（通常の記事）の電子ファイルを暗号化して記録する応用ソフトウェアのユーザーインターフェイスを作成し、ファイル圧縮型のアーカイブを組み込んだ実験機を作成した。この実験機を使用して暗号化を司る機能を試行錯誤しながら開発中である。

暗号化した電子ファイルはCDに書き込んで持ち運ぶことができる。



図1. 応用ソフトウェアを組み込んだ USB スティックメモリ



図2. 応用ソフトの起動画面

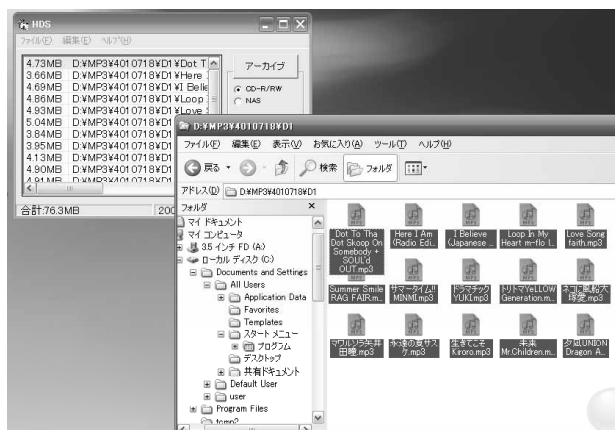


図3. ファイルの選択とアーカイブ処理の画面

対象となるファイルを選択して応用ソフトウェアの作業窓にドラッグし、[アーカイブ]ボタンをクリックする。パスワードはこの段階で入力するが、鍵の組合せに任意性があるため、現在検討中である。

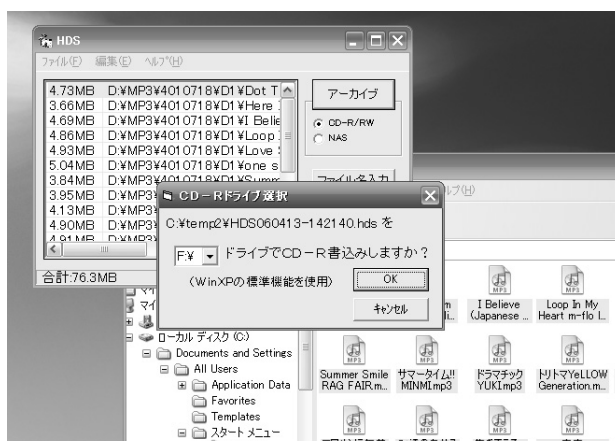


図4. CDへの書き込み確認画面

## 3. 結果

1) コンピュータ応用製品を扱う中小企業において、暗号技術を応用した商品の開発ノウハウが得られた。

2) 今後の課題としては USB スティックとその中に格納される応用ソフトウェアを一体化し、ツールの安全性を高めるとともに、利用者が通常の鍵と同じように取り扱えるようにしたい。